



うま やかた てん き せん 馬の館の伝馬船

野生馬ガイド参加記念資料

都井岬ビジターセンター・企画編集

2007年10月発行 Vol.2

電話・FAX:0987-76-1546

宮崎県串間市大字大納 42-1

月曜休館日 開館時間 9:00~17:15

魅力探訪 御崎馬ってどんな馬？

江戸時代に武士の軍馬として始まった御崎馬は近代になり使われず、野生化して残ったことで他の日本の馬とは異なる特徴を持っています。北海道の道産子や、武田信玄で有名な木曾馬は家畜として使用されながら現代まで残ったため、昔は有名な武士の馬でもその体型が骨太になり、ずんぐりした形に変わっていると言われます。近代日本における馬の使い方が、畑を耕すなど農業での使用が多かったため、体型が農耕馬になっているのだと考えられるのです。御崎馬は、それにくらべると足が細くて長くスマートな馬。御崎馬は使われずに野生化したことで本当のサムライの馬に最も近い馬なのだとと言えるのです。

研究職員 秋田

咲いた咲いた 季節の動植物

都井岬の秋は、まさに草花の宝庫です。春より秋のほうが、色々な草花に出会えます。ピンクが美しいゲンノショウコは、薬草としてとても有名な植物です。シソ科のクルマバナはその名の通り車輪のような面白い花をつけます。花がタヌキの顔に見えるという、タヌキマメなんて変わった植物もあります。みなさんも草原の花を探してみてください



研究職員
秋田

野生馬の岬で

働いている地元スタッフが旬の話題をお届けします☆
四季彩々の表情をもつ岬を身近な目線からお伝えする
都井岬四季報です

馬なり日々の

スタッフコラム

秋になり、都井岬の朝夕はヒンヤリ肌寒くなってきました。日中の暖かな時間には広大な丘に座り、都井岬の自然を感じながら読書とか、最高に気持ちがいいですよ～ 春駒誕生からはや半年。あどけなかった子馬たちも、今では身体も大きくなり、草を食べるようになってすくすくと育っています。あと半年もすれば、また春駒誕生です。今年生まれた子馬たちの成長も、いまお母さんのお腹にいる赤ちゃんの新しい命も、みんなで見守っていて下さいね。



ビジターセンター解説員
北川

館の掲示板

～ビジターセンター便り～

都井岬の新名物！本物の馬フン紙！？
ビジターセンターでは、都井岬に関連した物で面白いお土産の商品開発がスタートしました。昔から言われる馬フン紙は、物資不足の時代に稲ワラを煮込みパルプを作って紙を生産したもので、その黄ばんだ色とワラ繊維の風合いから『馬フン紙』と呼ばれたものなのです。しかし実際の馬フンにも、良い繊維が豊富に含まれるので、紙を作ろうと思えば出来ます！本物の天然馬フン葉書、お土産にぜひどうぞ！？



研究職員 秋田